

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1・2年	幼児と音楽表現Ⅰ	小松 洋子 他	
サブタイトル	ピアノ演奏技術、音楽表現の基礎	単 位 数	4※
授業形態	演習	※1年次・2年次 合計で4単位	
開講時期	2年通年	出席要件	4／5以上
到 達 目 標			
<p>① 保育者に求められるピアノの演奏技術、音楽表現の基礎を習得する。</p> <p>② 読譜に必要な音楽理論を学習し、子どもの音楽表現活動に関わる教材等を適切に活用できる。</p> <p>③ 伴奏の基本となる「主要3和音」を理解し、子どもの歌を通して実践できる。</p> <p>④ 表現する楽しさを実感し、幼児に伝える表現豊かなピアノ演奏ができる。</p> <p>⑤ 他者の表現を受け止め共感し、自ら学修した演奏法や音楽感覚を再確認し、より豊かな表現につなげていくことができる。</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。」ことを目指す科目である。基礎的なピアノ演奏技術を習得し、保育現場における子どもたちの音楽表現活動を支えることができる実践的な技能や音楽的感性を高めることを目指す。</p> <p>また、授業の中で共に歌い、弾き、聴き、教え合う学習を通して「③豊かな人間性を身につけている。」ことも目指す。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>① 1クラスを8名前後の小グループに分け、それぞれ個人レッスンしながらグループで学習する。</p> <p>② 事前に練習してきた課題曲や子どもの歌、伴奏付けのレッスンを受ける。</p> <p>③ 他の学生のレッスンを聴講して参考になる事をレッスン・ノートに書き留める。</p> <p>④ 授業でアドバイスされたことを、楽譜もしくはレッスン・ノートに必ず書きとめ、次の授業に活かす。また、次週の練習計画もレッスン・ノートに立てる。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『バイエル』 音楽Ⅰ研究室編 聖徳大学出版会 2017年 『子どもと歌おう！〈新版〉幼児とともに』音楽Ⅰ研究室編 聖徳大学出版部 2011年 『子どもと遊ぼう！ピアノ・レパートリー』音楽Ⅰ研究室編 聖徳大学出版部 2011年</p> <p>教 材：「伴奏付け」課題 「初見視奏」課題</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
<p>1. 曲に必要とされる演奏表現ができているか否か。</p> <p>2. ピアノ・レパートリー、幼児とともに、伴奏付け等の必修副課題を終了しているか否か。</p> <p>3. 日々の練習にレッスン・ノートを活用しているか否か。</p> <p>4. 2年次後期に単位認定試験を実施する。</p>		<p>実技試験 100%</p> <p>各学期の演奏発表を含む全ての実技で評価する。</p>	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分な練習をしてレッスンに臨むこと。 ・試験時はフォーマルスーツまたはそれに準ずる服装（白襟付き上衣、黒か紺の下衣）を着用。 ・シラバスの進度を常に認識し、必要な練習計画を立てること。 ・授業回数（2年通年）の5分の4以上出席しないと失格となり、1年間の再履修となる。 ・音楽教室講師としての長きにわたる勤務経験を活かし、実践的で分かりやすい授業を展開します 			

科 目 名 幼児と音楽表現 I (1部1年前期)

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	【ガイダンス】 授業の目的、内容、予習復習、試験等について理解する。	授業概要の把握 練習計画
2回	姿勢、手指の形、打鍵、読譜（拍子、音の長さ、ト音記号、 へ音記号の音等） バイエルNo.1～4	フォーム 打鍵法 拍子と拍節 音価の理解
3回	〈ポジション1〉 5指内の音階練習 No.5～8 写譜「おはようのうた」	フォーム 打鍵法 拍子と拍節 ポジションの理解
4回	右手旋律左手伴奏（和音奏）フレーズ No.9～11 写譜「おべんとう」幼児とともに(1曲目「大きな栗の木の下で」)	フレーズ感 レガート奏
5回	並進行と反進行 左手伴奏（分散奏） No.12～14 写譜「さよならのうた」幼児とともに	並進行と反進行の理解 音の響きを聴く
6回	対位法的動き アルベルティ・バス No.15～17 幼児とともに	2つのメロディーを聴き 分ける力
7回	〈ポジション2〉 ユニゾン タイ No.18～20 併用曲(1曲目) 幼児とともに(2曲目「おはようのう た」)	新しいポジションの理解 タイとスラーの違い
8回	左右のメロディー No.21～23 併用曲 幼児とともに	2つのメロディーを聴き 分ける力
9回	短調 オクターブ記号 全音符～8分音符 No.24～26 幼児とともに	短調の響きを感じる 8分音符の理解
10回	〈伴奏付け・主要3和音の理解〉付点音符 No.27～29 幼児とともに(3曲目を選択) 伴奏付課題 ハ長調	主要3和音 付点の理解
11回	6/8拍子、3/8拍子 強弱記号 メロディーと伴奏のバランス No.30～32 幼児とともに	ポジション移動 強弱 左右の音量バランス 6/8、3/8拍子の理解
12回	対位法的楽曲 転調 音域の拡大 No.33～34	2つのメロディーを聴き 分ける力 転調
13回	フレーズ感 同音のレガート No.35～36 幼児とともにの仕上げ	同音のレガート奏 広い音域への対応 フレーズ感
14回	〈幼児とともにの演習〉【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面・音楽面から総合的に復習する。	緊張感 演奏時の集中力
15回	【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 夏休み中の練習計画	緊張感 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2年間の通年科目のため、単位認定試験は2年次後期に実施する。	

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（1部1年後期）

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	【後期ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 初見視奏 ハ長調音階	前期で学んだことの確認、練習計画 ハ長調音階奏
2回	ト長調音階 調性 No.37 ト長調の音階 幼児とともに(4曲目「さよならのうた」)	ト長調音階奏 調性の意識
3回	音と表現① 併用曲 半音「宇宙ゆうえい」 3度の重音奏 No.38～40 伴奏付け課題 ト長調	イメージを膨らませる 3度の重音奏 指の独立
4回	ニ長調音階 右手重音奏 左手保持音 ニ長調の音階～No.42 幼児とともに 併用曲	ニ長調音階奏 右手重音奏 保持音 曲想の違い
5回	音と表現② 併用曲 全音「ミステリー・ミュージック」 イ長調音階 イ長調の音階～No.43 幼児とともに(5曲目)	場面を想定して演奏する イ長調音階奏 メロディーを歌わせる
6回	3拍子 装飾音符 腕の交差 同音指替え No.44～45 幼児とともに	装飾音 同音の指替え 左手伴奏 レジェーロ奏
7回	音と表現③ グリッサンド奏とクラスター奏 臨時記号 半音階 左右の掛け合い音階 No.46～47 幼児とともに(6曲目)	音域の違いによるイメージを感じる 臨時記号 半音階奏 レガート奏
8回	ホ長調音階 右手旋律を歌わせる練習 ホ長調の音階～No.48 幼児とともに	ホ長調音階奏 転調による曲想の変化
9回	全音符～16分音符 No.49～50 幼児とともに(7曲目) 併用曲(4曲目)	各種音価の理解 16分音符の速い動き
10回	〈マーチの演習〉付点のリズム 付点8分音符 マーチ 併用曲	マーチらしさの理解 付点リズムの表現
11回	3連符 同音指替え 付点8分音符 保持音 No.51～52 幼児とともに マーチの暗譜仕上げ	3連符の理解 付点リズムの表現
12回	〈マーチの演習〉 重音のメロディー イ短調音階 No.53～イ短調の音階 幼児とともに	重音のメロディー表現 同音の指替え 暗譜力 3種類の短音階奏
13回	〈マーチ・幼児とともにの演習〉 イ短調旋律短音階 転調 6/8拍子 抑揚感 No.54～55	左右の速い動き 転調による曲想の違い 抑揚感 暗唱力
14回	【後期のまとめ①】 技術面、音楽面から総合的に復習する。	緊張感 演奏時の集中力
15回	【後期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 春休み中の練習計画	緊張感 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2年間の通年科目のため、単位認定試験は2年次後期に実施する。	

科 目 名 幼児と音楽表現 I (1部2年前期)

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	【ガイダンス】2年次授業の概要 1年次で学んだ基礎を再確認し、今後の計画を立てる。 毎日練習することの重要性を再認識する。へ長調音階	授業概要の把握 練習計画へ長調音階奏
2回	シンコペーション No.56~57 幼児とともに(8曲目) マーチ 伴奏付け課題へ長調	へ長調音階 シンコペーションのリ ズムの理解
3回	左右のメロディー掛け合い 6度重音奏 No.58~59 幼児とともに マーチ	6度重音奏 左右の掛け合い
4回	3度重音奏 軽快なテンポ 付点音符 No.60~61 幼児とともに(9曲目) マーチ 併用曲	スタッカートの軽快さ
5回	複前打音 変ロ長調音階 短前打音 腕の交差 ポジション移動 No.62 幼児とともに マーチ 併用曲(5曲目)	装飾音符の奏法 変ロ長調音階奏 左右の交差とポジシ ョン移動
6回	〈マーチの演習〉 付点のリズムの理解 子どもの動きに即したテンポで弾く。 マーチの暗譜仕上げ、人前で止まらずに弾けるようにする。	付点のリズムの理解 マーチらしいテンポ 暗譜力
7回	左右の速い音階 複付点音符 保持音 No.63~64 幼児とともに(10曲目) 併用曲	拍節感 曲想の多様な変化 表現力
8回	フレーズと付点音符 2種類の指使いによる半音階 No.65~半音階 幼児とともに	2オクターブの音階奏
9回	狭い幅の順次進行 No.66 幼児とともに 併用曲 伴奏付け課題 移調	指の独立 半音階奏
10回	グループ1の1曲目① 幼児とともに(11曲目) マーチ	曲に求められる表現力
11回	グループ1の1曲目② 幼児とともに マーチ	曲に求められる表現力
12回	グループ1の1曲目③ 幼児とともに マーチ	曲に求められる表現力
13回	〈幼児とともにの演習〉 伴奏付け課題 移調	演奏時の集中力 移調する力 いろいろな伴奏形
14回	【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面、音楽面から復習する。 曲の完成度を上げる。	音楽表現力 演奏時の集中力
15回	【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題 夏休み中の練習計画。	音楽表現力 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2年間の通年科目のため、単位認定試験は2年次後期に実施する。	

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（1部2年後期）

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	【後期ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 グループ1の2曲目①	前期までに学習した内容理解 後期の練習計画
2回	グループ1の2曲目② 幼児とともに(12曲目) マーチ	拍節感 フレーズ感
3回	グループ1の2曲目③ 幼児とともに マーチ	音楽表現力 構成力
4回	グループ1の2曲目④ 幼児とともに(13曲目) マーチ仕上げ	読譜力 指使いへの注意 暗譜力
5回	〈マーチの演習〉 グループ1の3曲目① 幼児とともに	からだの移動 左右のバランス
6回	グループ1の3曲目② 幼児とともに(14曲目) マーチ	音楽表現力 演奏に必要な集中力
7回	グループ1の3曲目③ 幼児とともに マーチ	読譜力 初見力 拍節感
8回	グループ1の3曲目④ マーチ	これまでに学習したポイント 暗譜力
9回	グループ1の3曲目⑤ マーチ仕上げ	これまでに学習したポイント 長い曲の演奏に必要な集中力
10回	〈マーチの演習〉 修了課題曲演習① 前半譜読み 様々な音階奏や和音奏 幼児とともに	読譜力 初見力 指使いの確認
11回	修了課題曲演習② 後半譜読み アーティキュレーション マーチ	アーティキュレーション 表現力
12回	修了課題曲演習③ 全体を完成させる マーチ	基礎技術 音楽感覚
13回	修了課題曲演習④ 完成度を高める マーチ仕上げ	技術面、感覚面の総復習
14回	修了課題曲演習⑤ これまで学習した知識・技術を総合して音楽感覚を深める	音楽表現力 演奏時の集中力
15回	修了課題曲演習⑥ 修了試験に向けての総仕上げ	現場での演奏力 演奏時の集中力
試験	単位認定試験を評価の要点に基づき実施する。	